

かけはしがわ



発行 国土交通省金沢河川国道事務所

河川管理と野生動物

ツキノワグマへの対策は？

今年の秋は、小松市内をはじめ石川県内各地でツキノワグマが目撃され、農作物への被害やクマに襲われるといった人身事故が相次ぎました。

ツキノワグマなどの野生動物が山から下りてくるときは、川沿いの移動が多いことが知られています。

これは、川沿いには身を隠すのに都合の良い草木や藪があるためです。

金沢河川国道事務所、石川県や小松市は、クマを寄せ付けなためための対策として、梯川や支川の草刈りを実施しました。



河川カメラや水位を確認できるサイトはこちら
『川の水位情報』
<https://k.river.go.jp/>



カメラが捉えた穴を掘る様子



キツネが掘った穴



調査に使用した自動撮影カメラ



撮影されたホンドギツネ

堤防に穴を掘ったのは？
土でできている堤防に穴を掘る動物がいます。その代表はモグラです。
また、あまり知られていませんが、梯川にはもっと大きな穴を掘る動物がいます。数年前に堤防に大きな穴が見つかり、犯人捜しをしたところ、ホンドギツネが掘った穴であることが判明しました。キツネは巣穴で子育てをします。これらの穴を放置すれば堤防が壊れかねません。穴掘りの主が判明したので、引き続き河川巡視を行うとともに、効果的な対策を検討し、実施していきます。



周辺で目撃されたイノシシ



イノシシにより掘り起こされた堤防

イノシシが堤防で食事

巣穴を掘ることはありませんが、地面を掘り起こすイノシシも近年増えています。イノシシは植物の根、昆虫、ミミズなどを食べるために堤防法面の土を掘り起こして、植生を広い範囲で損傷させます。これにより堤防が弱体化します。特に被害の大きかった箇所ではブロックを張り、イノシシによる掘り起こしを防止する対策を実施しました。

河川水辺の国勢調査で確認した哺乳類 (H7、H12、H17、H24実施)

番号	科名	種名
1	モグラ科	ヒミズ
2		アズマモグラ
3		コウベモグラ
4	トガリネズミ科	ジネズミ
5	ウサギ科	ノウサギ
6	リス科	ニホンリス
7	ネズミ科	ハタネズミ
8		アカネズミ
9		カヤネズミ
10		ハツカネズミ
11		ドブネズミ
12	イヌ科	タヌキ
13	イタチ科	イタチ
14	ウシ科	カモシカ
15	—	コウモリ目の一種

梯川水系河川整備計画を点検

梯川水系流域委員会を設立

梯川の概ね20年間の河川整備の内容を定める『梯川水系河川整備計画』を平成28年3月に策定しています。現在は、この計画に基づいて梯川の整備を実施しています。計画の策定から時間が経っており、策定後の社会情勢の変化や地域の意向、河川改修事業の進捗状況等の視点から、計画見直しの必要性がないか点検を行いました。

この河川整備計画の点検結果について、小松市長をはじめとした委員の方にご意見を伺う『梯川水系流域委員会』の第1回目を令和2年11月13日(金)に開催しました。



オンライン会議の実施



委員会の様子

委員会では、事務局から梯川の整備に関する事業の進捗状況を説明し、計画通り事業が進捗していることが確認されました。

引き続き、現在の河川整備計画に基づき、自然環境や河川景観に調和し、地域の皆様が安心して暮らせるように、梯川の事業を継続いたします。

古府シマ遺跡

埋蔵文化財調査が

終わりました

堤防を引いて川幅を広げる場所で築堤に係る古府シマ遺跡の埋蔵文化財発掘調査が完了しました。

調査では、平安時代(9世紀)から室町時代(15世紀)にかけての柱穴群や溝、十数基の井戸が確認され、土師器・須恵器・緑釉陶器・墨書土器などの土器類、龍泉窯青磁・白磁などの中国産磁器、珠洲焼や加賀焼などの中世陶器、漆器や木製の箸など豊富な出土品がありました。

調査が終わり、今後は多様な動植物の生息や良好な河川景観に配慮し、より安全な梯川となるよう新しい堤防や護岸の工事を進めていきます。



令和2年10月撮影



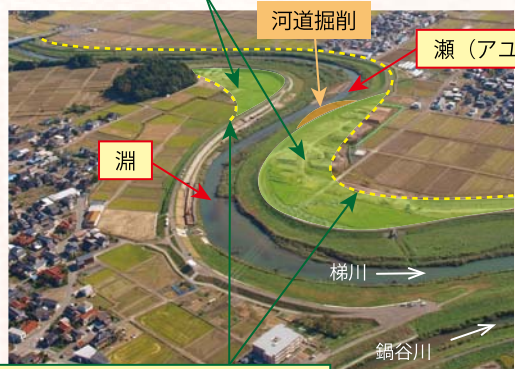
出土した9~10世紀の遺物

写真提供 石川県埋蔵文化財センター <https://www.ishikawa-maibun.jp/>



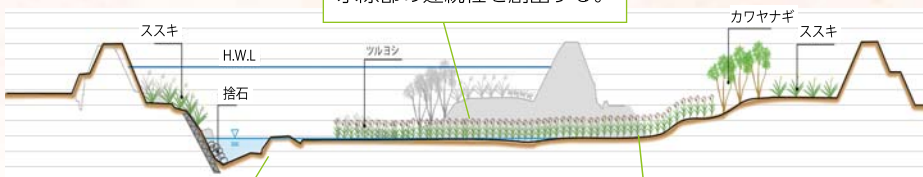
完掘状況

湾曲部内岸の引堤による新たな高水敷の創出(草本群落の繁茂によるカヤネズミやオオヨシキリの生息場の創出)。



湾曲部内岸の引堤により、良好な河川環境を有する蛇行区間の低水路拡幅を最小限にとどめ、治水と環境面の両立を図る。

抽水植物が生育する地盤高(平水位相当)まで切り下げ、水際部の連続性を創出する。



現況の河道形状を極力保全する。

掘削前に既往繁茂植生の表土を取り置き、工後に再配置するなど、植生環境を保全する。

河川環境の保全と整備のイメージ(鍋谷川合流点上流部)

油流出事故に「注意」ください

油が川に流れ込むと、河川に生息している魚類などの生物が死んだり、悪臭の原因になります。また、川の水を取水している場合、その被害はさらに拡がり、生態系だけではなく、私たちの生活にも影響がでます。

冬季は家庭からの油流出事故も多くあります。暖房器具へ給油するときに、ホームタンクからポリタンクへの移しかえで油があふれたり、タンクのバルブの閉め忘れなどであふれた油が、水路や側溝に流れ出して水質事故が発生します。

ホームタンク 使用時の注意点

ホームタンクをご利用中の方は、次の4つの点に注意をお願いいたします。

- ① その場を離れない
灯油を小分けする際には、その場を離れないようにしましょう。
- ② タンクの定期点検
配管の腐食や破損による流出を防ぐために定期的な点検を行いましょう。
- ③ 落雪に注意する
屋根からの落雪による配管の破損や脱落、タンク自体の転倒に注意しましょう。

- ④ 配管の場所を目印をつける
除雪による配管の破損を防ぐために目印を付けておきましょう。



目を離さないで!

油流出事故が発生したとき、見つけたとき

迷わず電話をかけてください。

小松市エコロジー推進課 0761-24-8067
小松市消防本部 0761-20-1119

流出場所、油の種類、流出量もお忘れなく。

小学生が水防のしごとを体験

令和2年10月13日(火)に、梯川手づくり学習館(前川排水機場に併設)の仕事体験コーナー「かわこくキッズ」を小松市立稚松小学校の4年生が体験しました。午前と午後であわせて72名の子どもたちが、洪水が起きたときの仕事や洪水に備えたマイ・タイムライン作成について勉強しました。

この施設では、子どもたちが『国土交通省かわこくキッズ』に任命され、架空の上司『梯守(かきはしまもる)』がモニターから与える『ミッション』



ミニサイズの土のうを積み水防活動のミッション



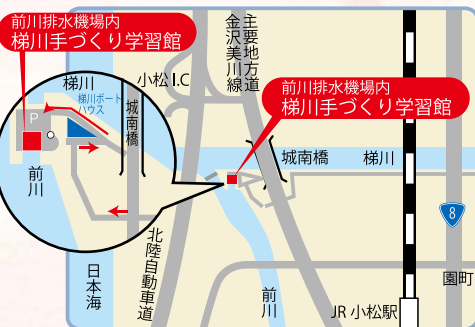
いつ、だれが水防警報や避難勧告を発表するかをミッションで体験



ボタンと連動するポンプ映像で前川排水機場操作を模擬体験



ポンプ車や照明車、河川パトロールカーを間近で見学



梯川手づくり学習館(前川排水機場内)
開館時間 平日 9:00 ~ 16:00
入場料 無料
お問合せ 小松出張所 TEL 0761-23-4000
新型コロナウイルス感染拡大防止のため完全予約制となっております。



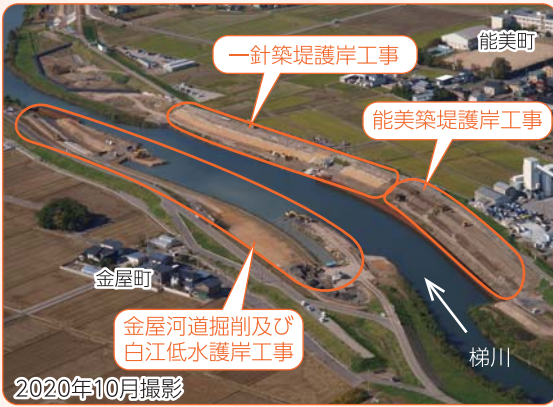
マイ・タイムラインの作成を学び、避難行動について子どもたち自らが考えます

ン(水防にかかわる仕事)を『クリア』していく、アトラクション感覚で仕事を体験します。仕事体験のあとは、洪水が起きそうときに「いつ、どこへ、どうやって」避難するかを考えるマイ・タイムラインについて勉強します。

水害対応の仕事を知ること、避難行動への理解を深め、洪水時の行動について子どもたち自身に考えてもらうことが体験学習のねらいです。



進んでいます梯川の工事



2020年10月撮影



2020年10月撮影



2020年10月撮影

田大橋下流右岸(古府地区)の築堤と護岸、左岸(佐々木地区)の築堤が主な施工中の工事となっています。

能美大橋の左岸側の橋脚の工事が12月に完了しました。これで、新しい能美大橋の全ての橋脚と橋台が完成しました。今後は橋の上部と取付道路の工事を実施いたします。

白江大橋から荒木田大橋までの区間の河川改修を重点的に進める「水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト」について、現在は、能美大橋の下流右岸(針地区、能美地区)の築堤と護岸、左岸(金屋地区、白江地区)の河道掘削と護岸、荒木

工事の進捗

現在、以下に示す改修工事が施工中 (A~L) となっています。

○施工中の工事【引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします】

番号	工事名	工期	受注者
(A)	R1梯川川辺地区浸透対策他工事	令和2年1月30日～令和3年1月21日	株式会社 丸西組
(B)	R1梯川千代護岸他工事	令和2年3月7日～令和3年2月26日	株式会社 丸西組
(C)	R1梯川金屋河道掘削及び白江低水護岸工事	令和2年3月7日～令和3年2月26日	株式会社 江口組
(D)	R1梯川能美築堤護岸工事	令和2年3月27日～令和3年1月29日	株式会社 吉光組
(E)	R1梯川一針築堤護岸工事	令和2年3月26日～令和3年1月29日	真柄建設株式会社
(F)	R2梯川佐々木築堤他工事	令和2年5月19日～令和3年2月26日	株式会社 吉光組
(G)	R2梯川小松地区河道掘削工事	令和2年8月27日～令和3年3月31日	株式会社 丸西組
(H)	R2梯川古府築堤護岸他工事	令和2年7月4日～令和3年3月31日	株式会社 小山組
(I)	R2・3梯川能美大橋上部工事	令和2年9月1日～令和3年7月4日	川田工業株式会社
(J)	R2梯川下牧護岸工事	令和2年9月29日～令和3年3月31日	石川建設工業株式会社
(K)	R2梯川千代低水護岸工事	令和2年10月1日～令和3年9月13日	株式会社 丸西組
(L)	R2梯川埴田築堤他工事	令和2年10月2日～令和3年5月31日	株式会社 江口組



○維持管理等に関する軽微な作業は除く

ご意見・お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課 TEL076-264-8800 (代表)
小松出張所 TEL0761-23-4000

ホームページ <https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>
メールアドレス kanazawa-bousai@hrr.mlit.go.jp
ツイッター <https://twitter.com/KanazawaBousai1>

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧いただけます。なお、ご意見等がございましたら上記のメールアドレスへお送りください。



国土交通省 北陸地方整備局
金沢河川国道事務所

